

第 16 回 日銀グランプリ決勝大会 審査員講評

審査員長 若田部 昌澄	(日本銀行副総裁)
審査員 市川 晃	(経済同友会 副代表幹事、住友林業株式会社 代表取締役 会長)
田代 桂子	(株式会社大和証券グループ本社 取締役兼執行役副社長)
櫻井 眞	(日本銀行政策委員会審議委員)
政井 貴子	(日本銀行政策委員会審議委員)

1. 総評

皆さん、活発なプレゼンテーションを有難うございました。

経済・金融の様々な課題について、多様な発想で提言していただきました。統計データとその分析にとどまらず、アンケートや実務家への聞き取り調査を通じて、自ら発見した提案やその問題点を考察するなど、研究に様々な工夫をされていたことが印象的でした。

また、本日のプレゼンテーションも、アイデアに富んだものでした。審査員からの専門的かつ高度な質問を受けても、自分たちの考えをしっかりと伝え、さらに議論を深めていました。そうした皆さんの姿は大変頼もしく、嬉しく感じたところです。

2. 個別の論文について

それでは、個々の論文ごとに講評を述べたいと思います。

【最優秀賞】

同志社大学

空き家 REIT で空き家をがらりート

～空き家問題解決しなあきやへんで！～

同志社大学チームは、J-REIT とオプション、官民連携の組み合わせにより空き家問題の解決を図るスキームを提言しました。

このスキームは、地方自治体が投資法人を設立し、空き家を集約し、リノベーション等をしたうえで、J-REIT を発行するものです。空き家所有者には、J-REIT のオプションを提供することで、空き家の整理を促し、空き家問題の解決を図るというものです。

なお、①地方自治体の関与を含め、いかにスキームを現実的なものとするのか、②そもそも空き家が発生する根本原因に、都市と地方の差を含め、どう対処するのか、③J-REIT の希薄化にいかに対応するのか、について更に検討を進めていくことが望まれます。

【優秀賞】

東京大学・一橋大学

二人の未来予想図

～金融機関発・新しいマッチングアプリ～

東京大学・一橋大学チームは、男女の出会いを提供するマッチングアプリと金融機関が連携する新しいアプリについて提言をしました。

この提言は、金融機関が保有する年収情報や金銭的価値観などをマッチングに活用すること、また、マッチングアプリにより結婚に至った人々に対しては、結婚後の資産形成や家計管理をサポートしていく仕組みとなっています。

プレゼンテーションは、アプリ利用の具体例を実演するもので、大変わかりやすいものでした。

なお、①個人情報の取扱いや情報管理をどのように行うのか、②将来の収入予測やライフイベントに関する不確実性などをどのように織り込むのか、③アプリの利用が広がった時に起こり得る格差等の社会的な問題、について更に検討を進め、実効性を高めることを期待します。

【優秀賞】

明治大学

年金タイムトラベル・レクチャー

～将来の自分との対話による年金教育の提案～

明治大学チームは、現世代から将来を想定するのではなく、将来世代の視点から現在を見直すというフューチャーデザインの手法を応用した年金教育を提言しました。

この提言では、将来の自分との対話による年金教育と、従来の講義形式の年金教育、この両者の教育効果を比較する実験を通じて、視座の変更が教育効果を高めることを検証しました。

仮説の立て方から分析に至るまでよく考えられていました。

なお、①実験における識別・条件コントロールの精緻化、②教育効果の持続性に対する検証、③提言する教育方法の具体的な活用手段、について更に検討を進め、分析を一段と深めていくことが望まれます。

【敢闘賞】

東京経済大学

あつまれ六次産業化ホールディングス

～若者の就農と定着に向けた、現状調査と持株会社の提案～

東京経済大学チームは、全国各地の農家を法人化し、当該農業法人と全国各地にある農産物加工・販売会社をグループ化することにより、六次産業化ホールディングスを設立するという提言をしました。

この提言では、若年就農者の増加や定着率の改善を企図しており、グループ内における人材流動化や最低給与保証などを構想しています。若年層への Web アンケートや実務家への取材、相関分析やロジット分析を行うことで、提案の有効性に関する検証も行っています。

なお、①提言するモデルにおいて収益性・生産性をどのように高めていくのか、②ホールディングス内の人的配置をどのように最適化するのか、③先行する類似した取

り組みなどといかに差別化を図るのか、について更に検討を進め、実効性を高めることが望まれます。

【敢闘賞】

麗澤大学

株学習を楽しく分かりやすく

～「スタかぶ」の提案～

麗澤大学チームは、主に若者世代への訴求を企図して、楽しくかつ実践的に株式投資を学べる「スタかぶ」というアプリを提言しました。

日本では個人の証券投資が少ないという問題意識の下、既存の株式投資教育アプリの短所を改善するために、バーチャルコンシェルジュによるレッスン、実際の株価を使ったデモトレード、課題クリアに応じたポイント付与などの機能を有するアプリの活用を通じて、本格的な投資家の育成を提言しています。

なお、①株式の売買だけでなく、分散投資、積立投資を含む資産形成全般に関する知識を、いかにアプリを通じて学ばせるのか、②対象とする金融商品種類を株式以外にどこまで拡大するのか、③教育難易度をどこまで高めていくか、について更に検討を進め、実効性を高めることが望まれます。

3. おわりに

今回の発表論文に関する講評は以上です。日本銀行では、来年度も日銀グランプリを開催する予定です。本日の決勝進出チームの皆さんのように、多くの学生の皆さんが、身近な生活や大学での勉学をきっかけに金融・経済への興味と関心を培い、自ら考え、仲間と議論しながら提言を作り上げることはとても重要です。こうしたことを通じて、これからも金融・経済面の課題に挑戦していただきたいと思います。

以 上